




A1 プラント

司会	岩田章裕	東芝プラントシステム
		
		自己紹介

1	藤澤 博	旭化成株式会社 生産技術本部 延岡エンジニアリング部
		[テーマ] プラント建設での3D-CAD活用事例(3D計測・他)
		[発表概要] これまで3D-CADを活用してプラント建設を実施してきたが、新設プラントに限定されていた。本フォーラムで3D計測技術を知り、現在は既設プラントでの設備設計や工事計画等で活用している。ユーザー目線での3D計測活用内容、及び、VR技術との融合活用など新たな試みも織り交ぜて紹介させていただきます。
		[自己紹介] 平成3年4月入社。旭化成一筋で26年間エンジ系組織に所属。オーナーズエンジの立場で国内向けプラント建設に携わる。現在はプロセス開発～プラント設計&建設、立ち上げまで一貫したエンジニアリング業務を若手育成しながら奮闘中。

2	高橋亜沙美	高田工業所 技術本部・エンジニアリング部
		[テーマ] 3D計測のプラントへの活用方法について
		[発表概要] 当社では設計ツールとして3D計測機を導入して以降、計測機としての活用は勿論、解析方法や他技術との組み合わせを検討していくことで、その活用範囲を広げてきました。当セッションでは3D計測を利用した設計実績の一例として干渉チェックや精密測定について紹介させていただきます。
		[自己紹介] 当社は各種産業設備の設計から調達、製作、建設、メンテナンスまでを担う総合プラント建設会社です。TAKADAを支える事業の一つであるエンジニアリング事業に於いては、これまで蓄積してきたプラントエンジニアリングの実績とデータをもとに、コンピュータ解析による高度なサービスを提供しています。

3	ウシンソク	SAMIN情報システム(株)、所属名:グローバル事業部 日本地域担当
		[テーマ] レーザーキャナー基盤Oil & Gas Plant モジュール Clash Check & Dimension 検査適用事例
		[発表概要] Oil & Gas Plant 施工及びRetrofit プロジェクトの場合はモジュール、装備の設置時、Dimension 問題によるClash 発生または 設置時点の問題が多く発生します。本発表では実際に実施したプロジェクトをご紹介します。まず、製作モジュールに対するレーザーキャニングを行い、3次元設計モデルとの比較、及びDimension 検査を実施して toleranceの管理分析を行います。そして、レーザーキャニングデータを用いて仮想設置シミュレーションを実施して Clashもしくは問題点を事前に見つけて措置することにより、One Time Settingを実現させます。
		[自己紹介] 当社は海洋・陸上プラント分野において、光波機及びレーザーキャナー基盤のモジュール3次元精度管理を目的としたソフトウェアの開発、モジュールの委託検査、精度管理コンサルティングを主に事業を進めて参りました。この度、プラント分野で積んできたプロジェクトについて紹介します。